

# 精神科看護師の365日

平成25年度から取り組んでいる日精看のテーマ「365」にちなみ、全国のさまざまな施設で働く精神科看護師の日常を紹介します。

file.12

## 中堅ナースの1日

一般財団法人愛成会 弘前愛成会病院  
工藤めぐみさん(41歳・精神科看護歴11年)の場合



### 精神科看護師になっただきっかけ

**看** 護師として入社して12年間は他科で働いていましたが、身内が統合失調症を患っていたこともあって、精神科にだんだんと関心をもつようになり、いまの職場に転職をしました。はじめは急性期病棟に勤務し、処置の仕方に慣れない時期は戸惑うこともありましたが、患者さんの症状が改善していく変化の過程に立ち会えることにやりがいを感じました。

### 現在の仕事内容

**昨** 年秋まで2年間、訪問看護を担当し、現在は外来にいます。私生活では二児の母ですが、夫や義父母の協力を得て、育児と

仕事を両立しています。病棟勤務時代、子どもがまだ小さかった時期には、夫が子どもを見られる日と調整しながら夜勤のシフトを組んでいました。

工藤さんの

### ある日のスケジュール

- 8:00 出勤
- 8:30 申し送り、ミーティング  
(検査などの予定確認、訪問看護スタッフとの情報共有など)
- 9:00 診察介助  
(他部署との連絡、入院手続きなど)
- 12:30 昼食休憩
- 13:30 診察介助
- 17:00 師長不在の場合は代理で申し送り
- 17:15 退勤

### やりがいや励みになること

**精** 神科は、患者さんとのコミュニケーションをとるほどに関係性を深めていける奥深さが醍醐味だと感じています。診察の順番がきた患者さんと呼ぶ際に、名前を呼ぶだけではなく「体調はどうですか？」という一言をつけ加えるだけでも、関心が伝わって距離が縮まります。患者さんから「先生には言えないんだけど、工藤さんにちょっと聞いてほしい」などと言ってもらえると、とてもうれしいです。

病棟勤務にもやりがいはありますが、外来勤務は地域で暮らしている患者さんや退院後の患者さんにたくさん触れあうことができ、さまざまな状況のなかにある患者さんの思いを直接聞ける点で学びになっています。診察中に、ドクターの横から患者さんの言葉や表情をよく観察するようにしています。

### 今後の目標

**精** 神科看護の役割は、患者さんの社会生活をサポートすること。そのために大事なことは、やはりこまめなコミュニケーション。いつでも患者さんの声に耳を傾けて寄り添うことができるナースを、これからもめざしていきたいと思います。